

平成29年度・生徒の学力に関する調査についての結果と分析

1. 平成29年度

「全国学力・学習状況調査」(第3学年対象) 結果(正答率) 4/18(火)

	A 主として知識			B 主として活用		
	学園中	東京都	全国	学園中	東京都	全国
国語	80.0%	78.8%	77.4%	70.0%	73.3%	72.2%
数学	60.6%	66.1%	64.6%	44.7%	50.0%	48.1%

2. 平成29年度

「練馬区立中学校学力調査」(第3学年対象) 結果(正答率) 6/7(水)

	学園中	練馬区	全国
社会	48.7%	52.1%	55.4%
理科	53.7%	55.3%	59.8%
英語	68.2%	73.0%	67.4%

3. 平成29年度・各学力調査についての分析

	教科名	分析（身につけている力・課題等）	改善策・取り組み
3年 全国	国語	「知識」は身につけているものが多いと思われる。一方活用する力に課題が残る。伝統的な言語文化に対して語彙が少ない。また、文学的文章における登場人物の心情の読み取りや自分の考えを表現する力が不十分である。	ことわざ、慣用句を始め、多くの言葉に触れる学習が必要である。また、想像だけで答えるのではなく文章表現に忠実に理解する力を養えるような読解演習を行う。書く学習を繰り返しおこない、表現の仕方を身につけさせる。
	数学	基本的な知識の活用力は、比較的身につけている。その中で、計算での符号扱い方、関数のグラフ、空間での直線に位置関係や柱体・錐体の理解が不十分である。	間違いやすい計算を紹介し、注意深く取り組ませる。関数の単元で、グラフの特徴を整理する。三平方の定理の単元で、空間図形を復習させる。
3年 練馬区	理科	自然事象への関心が高く、授業にも前向きに取り組むことができている。観察実験に関する手順について、理解の定着と活用に課題がある。特に化学変化や電気、気象などイメージしながら考えていくことが苦手である。	観察実験の方法とその理由を確認させ、手書きのレポート作成について、個に応じた指導を行う。視聴覚教材を活用してイメージを持たせ、理解を深めて身近な科学や日常生活と関連付けながら、活用する力を育成していく。
	社会	基礎的な力はかなり身につけている。また思考判断力も概ね身につけている。活用力を更に身につけさせたい。世界と比べた日本の地域的特色及び日本の諸地域について又近世の日本について課題がある。	日本の位置を世界地図の上で大観させるとともに、世界の諸地域を学習しながら常に日本との位置関係を把握させて学習する。また、日本の諸地域については資料の読み取りをした上で各地域との関連を理解させる。近世の日本については年表から時代の流れを捉える学習をする。
	英語	授業中の会話の活動や文法練習に意欲をもって取り組んでいる。決まった文法事項、指定した語句を使う力については、学んだことを生かして自己表現をする力が不足している。短い文は聞いたり読んだりできるが、長めの文になると課題がある。	語彙や文法の復習をしていくとともに、学んだことを実際の会話の中で使う場面を多く設定し、語彙力を実践的なものにしていく工夫をする。理解したことを繰り返し練習していくことで表現できることを増やしていくよう指導を続けていく。